

平成24年度第1回岡山県環境審議会大気部会議事録

1 開催日時及び場所

平成24年9月6日（木）14時30分～15時10分

三光荘 会議室3

2 出席者

委員4名（欠席委員3名）

事務局（環境管理課職員2名）

3 議事の概要

(1) 部会長として高橋委員を選出

副部会長として根岸委員を指名

(2) 行政概要について、資料2により事務局から説明があった。

質問①：新見市へはどのような業務を移譲しているのか？

回答①：大気汚染防止法や県条例に基づく届出の受理や事業者の指導等である。

質問②：なぜ新見市だけなのか？津山市とか他の市町村は？

回答②：「環境パッケージ」として環境業務を一括して市町村に事務移譲しているが、移譲を希望したのが新見市だけであったため。

(3) 「平成23年度大気等測定結果」について、資料3により事務局から説明があった。

質問③：光化学オキシダントについては大陸からの影響があるとされているが、実際にはどうか？

回答③：光化学オキシダントの原因物質である窒素酸化物や炭化水素類の国内における排出は下がっているが、光化学オキシダントの濃度は上昇していることから、大陸や東南アジアからの移流の影響が大きいとされている。これら大陸からの移流については、「東アジアネットワーク」として国が他国と連携し研究を進めており、今後、解明が進んでいくものと考えている。

質問④：PM2.5の測定場所はどこか？

回答④：早島町役場がある早島町早島局（早島町前潟）、早島インターの近くである早島町長津局（早島町早島）、笠岡市、総社市で測定している。なお、岡山市、倉敷市もそれぞれ2ヶ所で測定を開始した。

質問⑤：近年、県北でも高濃度の光化学オキシダントが観測されている。PM2.5についても県北で測定すべきである。

回答⑤：予算等の都合で新規の測定機購入が難しい状況にあるが、設置数増加に向けて検討したい。

質問⑥：光化学オキシダントはやはり、夏場に高濃度になるのか？

回答⑥：光化学オキシダントは、大気中の二酸化窒素と炭化水素類が、太陽光のエネルギーを受けて生成する。従って、気温が高く、風が弱く、日射が強い日に発生するので、夏に高濃度になる。

質問⑦：測定場所について、どのような基準で選定しているのか？

回答⑦：環境大気測定局については、発生源となる工場等が多い場所、倉敷市、笠

岡市、玉野市、備前市などに集中している。有害大気汚染物質についても県南に地点数が多いのは同様の理由である。

質問⑧：有害大気汚染物質について、岡山市、倉敷市を測定していないのはなぜか？

回答⑧：岡山市及び倉敷市については各市が測定しているが、今回、市からのデータ提供が間に合わなかったものである。

以上をもって議事が終了した。

この後、事務局から今後の大気部会の開催予定と近年の審議事項や、国において大気汚染防止法改正（アスベスト）が進められている旨、PM2.5や環境放射線についても協議が進められている旨の説明があった。

この後、議長が閉会を宣した。